

日本数学教育学会 第 10 回春期研究大会開催のご案内 (第三次)

日本数学教育学会会長 清水 美憲
第 10 回春期研究大会実行委員長 日野 圭子

日本数学教育学会では、平成 25 年度から、学会の公益法人化に伴う事業拡充の一環として、数学教育の基礎的・科学的研究の一層の推進のために、春期研究大会を開催しています。第 10 回春期研究大会は、下記の要領により、宇都宮大学において開催することになりました。充実した研究大会となりますよう、皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 日 程 2022 年 6 月 5 日 (日)
2. 会 場 オンライン (宇都宮大学 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350)
3. 大会参加費 事前準備が必要なため、参加は事前申込みのみ受け付けることとさせていただきます。

	事前申込み	
	会員	非会員
一般	2,500 円	3,500 円
学生	1,500 円	2,500 円

*事前申込みは、所定のサイト (URL:<https://www.sme.or.jp/>) で受け付けます。4 月以降にご案内します。

4. 研究大会プログラム

8:30~9:30	Zoom 接続確認
9:30~11:30	創成型課題研究 (ラウンドテーブルを含む)
11:40~12:10	開会行事
12:10~13:00	学会総会 (関係者のみ)
12:10~13:50	昼食, ポスター発表閲覧
14:00~16:00	創成型課題研究 (ラウンドテーブルを含む)

春期研究大会では、創成型課題研究 (ラウンドテーブルを含む) のセッションと、ポスター発表を予定しています。

◎創成型課題研究

創成型課題研究は、昨今の数学教育研究における複合化、総合化した研究課題の創出による新分野の開拓の必要性に呼応するために、各課題についてのオーガナイザーによる企画・運営を基本として、研究発表及び参加者による討議を行います。公募の結果、次の 11 課題が採択されました。

	テーマ	オーガナイザー
I	我が国の幼児算数教育の現状と課題	松尾七重 (千葉大学)
II	数学教育の内容・領域に固有な非認知能力に対する教師による評価	宮崎樹夫 (信州大学)
III	数と計算領域におけるターミノロジーの国際比較研究	岸本忠之 (富山大学)
IV	数学の生涯学習における探究活動と創造性	渡辺信 (生涯学習数学研究所)
V	学校数学における課題設計原理の開発に関する研究	小松孝太郎 (筑波大学)
VI	平面図形と空間図形の連動を視点とした小中一貫の図形カリキュラムの開発研究 (3)	岡崎正和 (岡山大学)

VII	数学的モデリングのサイクルと統計的探究プロセスにもとづく高等学校数学科授業研究	松寄昭雄（埼玉大学）
VIII	小学校下学年における比例的推論の基礎を形成する授業に向けた学習軌道の探究	加藤久恵（兵庫教育大学）
IX	数学教育現代化における教育課程の再構成原理とその過程（2）	蒔苗直道（筑波大学）
X	日本における数学授業レキシコンの特徴の顕在化に向けた比較文化的研究	舟橋友香（奈良教育大学）
XI	移行期の学校数学カリキュラムにおけるアラインメントの理論的・実証的研究	清水美憲（筑波大学）

○ラウンドテーブル

ラウンドテーブルは、創成型課題研究として、課題についてのオーガナイザーによる企画・運営を基本として、参加者との意見交流を中心として進めます。公募の結果、次の2課題が採択されました。

	テーマ	オーガナイザー
I	高等学校数学科における「授業研究コミュニティ」の形成	長尾篤志（国立教育政策研究所）
II	算数・数学における「自律的発展型授業」に関する質問紙調査の作成とその分析	佐藤学（秋田大学）

◎ポスター発表

ポスター発表は、大会実施日から1週間、研究大会サイト内にポスターを掲示することで行います。意見交換はZoomではなく、メール等で行っていただくものとします。

5. 参加申込み

参加申込みの締切は、5月27日（金）です。申込方法については、学会ホームページ（URL：<https://www.sme.or.jp/>）をご覧ください。期日を過ぎると、申込ができません。また、発表申し込みをされた方も、別途、参加申し込みが必要ですのでご注意ください。

6. 第10回春期研究大会 実行委員会 事務局

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学 共同教育学部
 日野圭子（実行委員長） 牧野智彦（事務局長） 川上貴
 e-mail: jsmespring10@sme.or.jp